

答弁 自主防災・防犯組織は被害の軽減、犯罪の防止を図ることを目的に、各行政区に設立をお願いしたものです。今後、地域住民と役場職員の協同による被害情報の収集・共有のための防災訓練をし、災害に対処できればと考えます。避難場所については、地震、地すべり等による災害を考慮せず、地域の集会所が適当と判断していましたが、現在見直しを進めています。予測できない災害が発生しているので、地域防災計画の見直しと合わせ今後の検討課題とします。

たいと考えています。
根岸 文雄議員

②村のインフラの老朽化が進み危険である。技術者の確保、県への要望、村の対応を伺います。

質問 東秩父分署の建設地および機能について

答弁 対策については国土交通省の補助事業「道路ストック総点検」を行っています。道路舗装については現在調査中であり、今年度予算で舗装修繕工事を発注する計画です。橋梁については長寿命化修繕計画に沿って補強や修繕を進めます。道路法面工および土工構造物については来年度予算にて検討しています。また、県に対して技術者の増員の要望を行ったことはありません。村の技術職員については平成22年度に1名採用、今後も地籍調査を計画しており技術職採用について担当部局と協議をし

たいと考えています。
①分署の建て替えは村民の生命財産を守る上で、極めて重要な課題であり、現場の実情を把握されている方々の意見から、次の5点に集約されます。
(1)防災の拠点機能を持たせる。
(2)防災ヘリ3機が活用できる。
(3)災害対策本部が設置される場所に近いところに建設する。
(4)災害対策用物資が保管されている近くに建設する。
(5)救急車の出勤回数が多い、人口の多いところに建設する。
以上を踏まえ、ご所見を伺います。

答弁 消防署の機能ですが、様々な災害から住民を守るため、火災の予防、警戒および鎮圧、交通、防災事故などの救助、救急業務、震災対策、水防活動、防火指導、災害時支援ボランティア等が業務内容になると考えています。従って、この重要な5点に集約されている場所が理想と考えます。目的を達成するには比企広域消防本部、議会、村民から幅広いご意見を聞くなかで、地域性を考慮しながら進めていきたいと考えています。

②旧西小学校の敷地は、急峻な山肌に隣接しており、法的、技

術的に、防災ヘリの活用が困難と言われています。また、山肌の防護壁は耐震化されていない可能性があると意見から、分署建設地として適地とは言えないという見方が一般的と思えますが、ご所見を伺います。

答弁 この土地の利用について、否定的な考えのみではなく、耐震対策が施された体育館は避難場所として大変有効であると比企広域消防関係者の意見も伺いました。分署建設候補地は救急医療体制のみならず、地域防災拠点についても、ご指摘の点を十分考慮しながら、協議の場を展開して取り組みます。

③分署建設地の最終決定にいたる手順・村の取り組み状況について。また、案件に対する「コメント制度」の導入について

答弁 分署建て替え計画については、議員、消防OB会、地元の皆様をはじめ、比企広域消防本部のご指導のなか、進めたいと考えています。また、コメント制度の導入は提案箱等を参考に、今後検討してまいります。この事業は極めて重要であり、確実に実行するためにご指摘の点など資料を重ねつつ進めていきます。

⑦「学校応援団」の推進事業
地域の教育力を取り込み、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりを推進。
(イ)「槻川小学校校歌」作成事業
児童の一体化と心のよりどころとして、9月完成を予定。
(ウ)指導補助員配置事業
配置の充実により、確かな学力の定着と向上に役立てる。
(イ)さわやか相談員配置事業
子どもたちの健全育成を支援し、不登校等の未然防止・早期発見および解決を図る。
(オ)外国語指導助手配置事業
配置により、国際理解教育の推進、英語の基礎能力を培う。

⑦「学校応援団」の推進事業
(カ)児童通学バス利用事業
スクールガードを委嘱し、児童の登下校の見守り活動を行っている。また、旧西小学校区の児童のバス通学に対し、学校、地域等が一体となり児童の安全確保に努めている。
○生涯学習の推進
学習情報の収集に努め、村民の主体的な活動を支援します。
(ア)基本的人権を尊重する教育の推進事業
基本的人権を尊重する体制づくりを積極的に進めます。
(イ)公民館講座推進事業
村民の学習ニーズを適切に把握し、事業を推進します。

①学校の管理、社会教育、文化財関係等分野別の平成25年度重

点事業の名称、内容並びに進捗状況について

答弁 本年度の事業は次のとおりです。
○生きる力を伸ばす教育の推進
子どもたちの自立と成長を保障するためには、知・徳・体の調和を図りつつ、問題解決のために豊かな創造力を発揮できる「生きる力」を育てる必要があります。

○教育環境の整備
学校は地域の防災拠点等重要な役割を担い、また、安全・安心で子どもたちの多様な教育環境に適した施設となるべきです。
(ア)中学校校舎内装木質化・アス

ベスト除去工事
(イ)小学校プール改修工事設計業務委託
(ウ)中学校プール塗装他修繕工事設計業務委託
(イ)学校給食衛生・管理推進事業
調理場の衛生管理の徹底、食材の細菌検査等の実施。
(オ)学校給食費助成事業
毎月一人に対して500円を助成。
(カ)児童通学バス利用事業
スクールガードを委嘱し、児童の登下校の見守り活動を行っている。また、旧西小学校区の児童のバス通学に対し、学校、地域等が一体となり児童の安全確保に努めている。
○生涯学習の推進
学習情報の収集に努め、村民の主体的な活動を支援します。
(ア)基本的人権を尊重する教育の推進事業
基本的人権を尊重する体制づくりを積極的に進めます。
(イ)公民館講座推進事業
村民の学習ニーズを適切に把握し、事業を推進します。

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス

⑦中学校校舎内装木質化・アス